

器 32 医療用吸引器
管理医療機器 電動式可搬型吸引器 (36616030)

バキューイド Q S U

【警告】

<使用方法>

- 1) フィルターカートリッジは水で濡らさないこと。
[吸引力が低下し、吸引不能になるため]

【禁忌・禁止】

<使用方法>

- 1) 吸引ボトルは患者個人の使用に限り、複数の患者に使用しないこと。[感染のおそれがあるため]
- 2) 再使用可能な吸引チューブ等の構成部品を洗浄しないで別の患者に使用しないこと。[感染のおそれがあるため]
- 3) 眠気がある患者に使用しないこと。[呼吸を妨げる可能性があるため]
- 4) 睡眠中は使用しないこと。[呼吸を妨げる可能性があるため]
- 5) 入浴中は使用しないこと。[感電のおそれがあるため]
- 6) 胸腔ドレナージ、経鼻胃吸引には使用しないこと。
[本品は喀痰等の吸引除去を目的としている]

【形状・構造及び原理等】

<形状>



- | | |
|---------------|---------------|
| ① 電源スイッチ | ⑦ 吸引ボトル |
| ② 電源表示パネル | ⑧ 吸引チューブ |
| ③ 吸引圧調節ノブ | ⑨ AC アダプタ |
| ④ アダプタ接続ジャック | ⑩ 電源コード |
| ⑤ フィルターカートリッジ | ⑪ 12VDC 電源コード |
| ⑥ チューブ接続口 | ⑫ キャリーバッグ |

<原理>

本品は、ダイヤフラム式ポンプにより吸引ボトル内を陰圧にして吸引を行う。吸引ボトル内の空気は、フィルターカートリッジを経てダイヤフラム式ポンプ内に引き込まれ、排気弁を経て排気口より外へ出される。

<電気的定格>

- 1) 電源電圧：DC12V 又は AC100～240V 50/60Hz
- 2) 電源入力：110VA

<機器の分類>

- 1) 電撃に対する保護の形式：クラスⅡ機器／内部電源機器
- 2) 電撃に対する保護の程度：BF 形装着部

<仕様>

- 1) 吸引圧力（ゲージ）：50～550mmHg（6.7～73.3kPa）
- 2) 最大排気流量：20L/分以上
- 3) 吸引ボトル（使い捨てタイプ）容量：800ml
- 4) 作動モード：最大作動時間 30 分 / 最小休止時間 30 分

<安全装置>

吸引物が吸引ボトル内に満水になると、停止フロートが自動的に吸引圧力を遮断し、吸引が停止される。

【使用目的又は効果】

気管支等の喀痰や分泌物等の吸引除去を目的とする。

【使用方法等】

〔使用準備〕

〔組立〕

- 1) 吸引ボトルを本体に装着する。
 - 2) フィルターカートリッジに接続された約 10cm のチューブを本体のチューブコネクタに接続する。
 - 3) 吸引チューブを吸引ボトルのチューブ接続部に差し込む。
- ##### 〔電源接続〕
- 1) 使用する電源を下記から選択する。
 - 2) AC（交流）電源：AC アダプタのコネクタを本体側部にあるアダプタ接続ジャックに差し込み、交流側にあるプラグをアースされた電源に差し込む。
 - 3) 12VDC（直流）電源：12VDC 電源コードのコネクタを本体側部にあるアダプタ接続ジャックに差し込み、プラグコネクタを 12VDC（直流）電源（自動車のシガーライターソケット）に差し込む。
 - 4) バッテリ：バッテリーを十分に充電する（満充電には約 10～17 時間を要する）。また、外部電源が本体側部にあるアダプタ接続ジャックに差し込まれていないことを確認する。

〔使用〕

- 1) 電源を設定し、電源スイッチを ON にする。
- 2) 吸引圧力の調節：患者側の吸引チューブ口を塞ぎ、本体側部にある吸引圧調節ノブを回転させて吸引圧力を調節する。吸引圧力は本体の上部にある圧力ゲージに表示される。（正確なゲージ圧力を読むため、いったん吸引チューブ口を開放し、再度吸引チューブ口を閉鎖させて吸引圧力を確認する）

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

- 3) 吸引カテーテル（別売品）を吸引チューブに接続して吸引を開始する。
- 4) 吸引ボトル内が満水、つまり吸引ボトルの作動停止フロートレベルに達すると吸引は自動的に停止する。停止フロートが作動した場合は、ボトルの内容物を廃棄する。
- 5) フィルターカートリッジは使用 1～2 ヶ月毎、または吸引物がフィルターに吸い込まれた場合には、新しいものに交換する。

〔使用後〕

- 1) 電源スイッチを OFF にする。
- 2) 電源コードを取り外す。
- 3) シリコンチューブ（吸引ボトルの蓋と本体をつなぐチューブ）と吸引チューブを取り外す。
- 4) 吸引ボトルを本体から取り出す。
- 5) 吸引ボトルの蓋からフィルターカートリッジを取り外す。
- 6) 吸引ボトルの蓋を外し、ボトル内の吸引物を捨てる。
- 7) 吸引ボトルと蓋は食器用洗剤を入れた温水中で洗い、清潔なお湯ですすぐ。
- 8) その後、市販の消毒剤または食酢 1 に対して温水 3 の割合の混合液で洗い、お湯ですすいだ後、十分に乾燥させる。
- 9) 外出先で使用する際には、キャリーバッグに収納し運搬を行う。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- 1) 吸引中は、吸引ボトルに溜まった吸引物の量を確認し、吸引物はできるだけ早く捨てること。〔吸引ボトルに吸引物が一杯になると、自動的に吸引が停止するため。〕
- 2) 吸引ボトル内の停止フロートが働いた場合には、直ちに電源を OFF にし、吸引ボトル内の吸引物を捨てること。〔そのままの状態ですぐに吸引を続けると、吸引ポンプの故障の原因となるため。〕
- 3) バッテリーの充電量が少なくなって低バッテリー表示が点灯（赤色ランプ）した場合は、すぐに他の電源に切り替えること。〔機器の性能が急速に低下するため。〕

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 吸引圧力は常に適切な圧力に調節すること。
- 2) 吸引は分泌物があるときにのみ行い、必要以上の吸引は行わないこと。
- 3) 使用前には、吸引ボトルにひび割れや漏れがないことを確認すること。
- 4) 水、その他の液体の中に置いたり、落としたりしないこと。
- 5) 水中に本品が落下した場合には、直ちに電源コンセントから電源プラグを抜くこと。
- 6) 不安定な場所で使用したり、置いたりしないこと。
- 7) フィルターカートリッジはボトル洗浄時には必ず取り外すこと。1～2 ヶ月毎、または吸引物がフィルターに吸い込まれた場合には必ず交換すること。
- 8) 長期間使用しない場合には、少なくとも 6 ヶ月毎に充電を行うこと。

＜相互作用＞

〔併用注意〕

- 1) 吸引カテーテル等の中には、本品付属の吸引チューブに接続できないものがある。使用前に、接続する吸引カテーテルと吸引チューブが確実に接続できることを確認すること。

- 2) 吸引カテーテルの使用方法是吸引カテーテルの取扱説明書に従うこと。

＜妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用＞

- 1) 小児や粘膜の弱い患者に使用する際には、最小の吸引圧力で処置を行うこと。

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

〔吸引ボトル〕

- 1) 使い終わるたびに、吸引ボトル内の吸引物を捨て、以下の方法で洗浄する。
- 2) 蓋からフィルターカートリッジを取り外す。
- 3) ボトルと蓋は、食器用洗剤を入れた温水中で洗い、温かい流水ですすぐ。
- 4) 食酢 1 に対して温水 3 の割合の混合液で洗い、温かい流水ですすぐ。
- 5) 十分に乾燥させる。
- 6) 使用頻度に応じ、適切に交換する。

〔吸引チューブ〕

- 1) 使い終わるたびに機器本体から取り外し、チューブ内を温かい流水で十分に洗い流す。
- 2) 食酢 1 に対して温水 3 の割合の混合液で洗い流し、温かい流水ですすぐ。
- 3) 十分に乾燥させる。

〔フィルターカートリッジ〕

- 1) フィルターカートリッジは洗浄できない（水で濡れてしまうと、吸引不能となる）。
- 2) 使用 1～2 ヶ月毎、または吸引物がフィルターに吸い込まれたり、濡れたりした場合に交換する。

＜業者による保守点検事項＞

〔バッテリー〕

- 1) 内蔵バッテリーは消耗品であるため、劣化等により交換が必要になった場合には、弊社営業所または販売店へ連絡してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：エア・ウォーター・メディカル株式会社
製造業者：DeVilbiss Healthcare（米国）